

公益社団法人愛知県医師会 第38回(定例)理事会議事録

開催日時：平成26年3月20日(木) 午後2時30分～午後4時15分

開催場所：愛知県医師会館4階理事会議室

出席者

会長(代表理事)／柵木 充 明

副会長(代表理事)／山本 楯 伊藤 宣 夫 横井 隆

理事／市川 朝 洋 伊藤 健 一 城 義 政 加藤 雅 通 大輪 芳 裕

西山 朗 松尾 清 一 伊藤 富 士 子 瀨 瀨 雅 明 細 川 秀 一

監事／加藤 茂 丹羽 巽 岩瀬 敬 紀

代議員会議長／杉田 洋 一

欠席者

理事／稲坂 博 可世木成明 吉田 貴 檜尾 富二 樋口 俊寛

代議員会副議長／藤原 誠 治

議事録作成者 横地 宏 和

議長は、定款第39条第2項により、柵木充明会長(代表理事)が務める。

本日の理事会は、出席者18名(うち理事14名)で、理事現在数19名の2分の1以上(10名)の出席があり、定款第39条第6項の決議を行うに必要な過半数に達していることを確認した。

人事に関する承認事項1-(4)、3については、一括して会の最後に市川理事より説明され、協議を行った結果、承認された。また、報告事項4についても併せて会の最後に市川理事より報告された。(人事関係議題については事務局長、事務局次長のみ同席した)

議事進行に先立ち、柵木会長より挨拶。

議 事

一承認事項一

1. 庶務関係事項について

(1) 後援並びに共催について

① 社会医療法人杏嶺会 一宮西病院の行う市民公開講座の後援について

市川理事より説明があり、承認された。

(2) 愛知県心身障害者コロニー(総長 安藤久實)の行う発達障害研修会〔6/22(日)、9/28(日)〕の後援について

市川理事より説明があり、承認された。

(3) 公益社団法人愛知県医師会就業規則等の一部変更について

市川理事より説明があり、人事委員会の審議を受け、就業規則及び賃金規程の内容及び、公益社団法人への移行に伴い、「社団法人愛知県医師会」の記述を「公益社団法人愛知県医師会」と変更することが承認された。

(4) 平成 26 年 4 月 1 日付 職員の人事異動について

会の最後に一括協議。

2. 全国健康保険協会愛知支部 健康保険給付金等審査医師の推薦について

伊藤副会長より説明があり、標記審査医師 5 名の推薦が承認された。

3. 職員退職金支給について

会の最後に一括協議。

4. 病院の認知症対応力向上事業 モデル事業企画支援会議委員の追加委嘱について

伊藤（健）理事より説明があり、標記会議の委員として、河西あつ子先生（津島市・安藤病院院長）、伊藤光保先生（東海市・内科伊藤医院院長）を追加委嘱することが承認された。

5. 平成 25 年度愛知県救急医療情報センターの委託契約変更について

細川理事より、標記委託契約の変更内容について説明されたが、柵木会長より、変更前の金額が分かる資料を提示する必要があると発言され、継続審議となった。

6. 各種委員会・部会について

A) 定款諸規程等検討委員会の開催について

市川理事より説明があり、持ち回り決裁による開催が承認された。

柵木会長より、検討する内容について質問され、市川理事より、本会定款第 14 条第 3 項の代議員の兼職の禁止規定に関する定款の一部変更についてその必要性も含め検討すると回答された。

—協議事項—

7. 会費の減免申請について

市川理事より説明があり、豊川市医師会から申請のあった 2 名、半田市医師会から申請のあった 1 名の会費減免申請が承認された。

8. 積雪による被害会員の見舞金について

市川理事より名古屋市医師会より申請のあった災害見舞金の申請内容について説明された。

柵木会長より、正副会長打合せでの議論内容を説明され、今回は見合わせる事となった。

伊藤（健）理事より、規定に診療所と自宅の区分けはあるのか質問され、柵木会長より、規定上、区分けはないが今回は執行部の考えとして、大災害ではない個別の事案については、原則見舞金の交付はしないことにしたと回答された。

9. その他

—報告事項—

1. 愛知県医療審議会医療計画部会〔3/17(月)〕について

(愛知県主催：愛知県白壁庁舎)

柵木会長より、病床整備計画について、特定病床の特例による病床整備計画について、病床整備計画等に係る取扱いの見直しについて、医療審議会の組織見直しについて議論され、病床整備計画等に係る取扱いの見直しについては、各圏域の協議会にて承認を受けたものは医療法的に問題が無ければ本部会では報告事項にすることになったと報告された。

伊藤(健)理事より、病床整備計画等に係る取扱いの見直しについて、医療圏の承認だけでよいのか質問され、柵木会長より、保健所と県行政が連携をとり、問題が起きないようにすることになったと回答された。

2. 日医理事会〔3/18(火)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

柵木会長より、理事打合会での議題「『特定秘密保護法』に対する日医の見解表明」、「日医生涯教育協力講座の運営」についての内容を説明され、理事会では報告事項の「第81回日本医学会定例評議員会の件」、協議事項の「フィリピン台風被害に対する支援金の件」、「日医医賠償保険の改定の件」について説明をされた。

松尾理事より、平成31年に名古屋で開催される医学会総会について、本会へ協力依頼をされた。

3. 支払基金幹事会〔3/12(水)〕について

(支払基金主催：支払基金)

伊藤副会長より、審査関係訴訟事件について、大阪府と愛知県の事例の説明をされ、また、「報道機関の方との懇談会」について報告があったと報告された。

4. 人事委員会〔3/13(木)〕について

市川理事より、会の最後に報告された。

5. 第12回 愛医総研意見交換会〔3/4(火)〕について

(愛知県医師会主催：501会議室)

伊藤(健)理事より、講師に名古屋市立大学大学院医学研究科教授の早野順一郎先生をお招きし、「地域と育む未来医療人『なごやかモデル』プロジェクト」をテーマに意見交換を行った。出席者は愛医総研関係者6名、医師会関係者1名であったと報告された。

6. 第12回 地域医療再生に関する多職種連携協議会〔3/11(火)〕について

(愛知県医師会主催：5階医師連盟会議室)

伊藤(健)理事より、イエローカードシステムの商標登録に関して現在、特許庁へ出願中である旨を報告した。また、「今後の多職種連携」を中心にフリーディスカ

ッションを行い、各団体の組織機能の在り方や連携を促進させるための具体的方策など活発な議論が交わされたと報告された。

7. 一般社団法人愛知県労災指定医協会 平成 25 年度 第 11 回理事会〔3/6(木)〕について
(一般社団法人愛知県労災指定医協会主催：地下健康教育講堂)
城理事より、平成 26 年 3 月 1 日付けの新規労災指定病院は、医科 6 件、歯科 3 件であった。また、平成 26 年 2 月 20 日の第 3 回愛知県損害保険医療協議会の報告、3 月 13 日開催の産業保健研修会の案内があったと報告された。
8. 平成 25 年度第 2 回東海がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン合同会議〔3/10(月)〕について
(名古屋大学大学院医学系研究科がんプロフェッショナル養成基盤推進プログラム主催：名城大学 名駅サテライト(M-SAT))
城理事より、平成 26 年でがんプロ 3 年目となり、中間評価の年となる。平成 26 年度の補助金は、15%減の 1 億 1,900 万円となった。大学院の生徒数が、他地域より少ないため減額が多くなった。e-ラーニングは、受講登録者は 818 人であると報告された。
9. 愛知県健康管理機関協議会 平成 25 年度研修会〔3/11(火)〕について
(愛知県健康管理機関協議会主催：地下健康教育講堂)
城理事より、テーマは「ABC 検診を正確に理解しよう」で、血清ペプシノーゲン(PG)とヘリコバクターピロリ(HP)抗体検査を用い、陽性者に胃内視鏡検査を行い胃がんを見つけようとする検診である。HP 陽性者は除菌を行い、PG 陽性者は隔年検査、陰性者は 5 年に 1 回検査とする。胃部レントゲン検査は、事前食事制限、バリウムの事後処理、検査の所要時間など障害となっており、ABC 検診が胃がん検診の受診率向上の一助になることを期待していると報告された。
10. 平成 25 年度都道府県医師会生涯教育担当理事連絡協議会〔3/12(水)〕について
(日本医師会主催：日本医師会館)
城理事より、平成 24 年度単位取得者(日医会員)は 103,456 人で、単位取得者率(日医会員)は 62.9%(診療所 69.2%、病院他 54.6%)。平均取得単位は 16.1 単位、平均取得カリキュラムコード数は 15.4 カリキュラムコードであった。専門医の在り方に関する検討会にて、基本的診療領域と subspecialty からなる二段階制など提案。平成 27 年 4 月より、見直し後の研修医制度がスタートする予定であると報告された。
11. 全国難病センター研究会 第 21 回研究大会(京都)〔3/8(土)、3/9(日)〕について
(全国難病センター研究会主催：ホテルルビノ京都堀川)
大輪理事より、第 21 回研究大会には、各都道府県の難病相談・支援センターの相

談員や患者団体など約 160 名が参加された。1 日目は厚生労働省健康局疾病対策課課長より、「難病患者に対する医療等に関する法律案」について報告。2 日目はご自身が、「医師会が運営する難病相談・支援センターの特性と今後の課題」というテーマで発表し、難病相談室の取り組みや支援体制、また各種事業などについて報告したと報告された。

1 2. 平成 25 年度 難病相談室 患者・家族のつどい (H25. 6/14 (金)・9/27 (金)・10/31 (木)・12/10 (火)・H26. 3/10 (月)) について

(愛知県医師会主催：601 会議室、6 階研修室、803・804 会議室)

大輪理事より、「障害年金に関する勉強会」、「難病患者さんの就労についての勉強会」等を行い、合計で患者 58 名、家族 28 名、その他 42 名の計 128 名の参加があったと報告された。

柵木会長より、参加者のその他の内訳について質問され、大輪理事より、行政関係者や保健師であると回答された。

1 3. 第 32 回愛知県医師会医療秘書学院卒業式 (3/16 (日)) について

(愛知県医師会医療秘書学院主催：9 階大講堂)

大輪理事より、20 名に卒業証書及び全国医師会医療秘書連絡協議会認定書を授与し、学年末・卒業試験成績優秀者表彰は 3 名、皆勤者表彰は 5 名、進級試験成績優秀者表彰は 3 名をそれぞれ表彰したと報告された。

1 4. 愛知県医師会会員相談窓口第 5 回事例検討会 (3/17 (月)) について

(愛知県医師会主催：801 会議室)

大輪理事より、案件 46 件(うち診療報酬に関する相談 25 件)について協議したと報告された。

1 5. 第 2 回 東三河地域産業保健センター運営協議会 (2/27 (木)) について

(東三河地域産業保健センター主催：豊橋市民センターカリオンビル 4F 小会議室)

西山理事より、平成 25 年度事業実績は、24 年度比で個別健康相談開催回数は 65 事業所で 585 人(20%増加)、間接相談数は 35 事業所で 367 人(10%増)、サテライト相談件数は 4 人で長時間労働実施人数は 42 人(変化なし)、登録事業所数は 38 社増加(うち 80%は労働基準監督署の指導による)した。平成 26 年度事業計画では、活性化を期待するには労働基準監督署、商工会議所の口添えを依頼した三事業一体化について愛知労働局より説明があり、また、メンタルヘルスのチェック表を作成したがメンタルヘルスの相談は 0 件であったと報告された。

1 6. 平成 25 年度 愛知県精神保健福祉協会常務理事会 (3/6 (木)) について

(愛知県主催：愛知県東大手庁舎)

西山理事より、平成 25 年度事業報告及び収支決算見込み、平成 26 年度事業計画及び収支予算案等、平成 25 年度精神保健福祉基金事業報告及び 26 年度事業計画

について協議・報告があったと報告され、また、ホームページが作成されたので参照頂くよう発言された。

17. 第2回 西尾幡豆地域産業保健センター運営協議会〔3/7(金)〕について
(西尾幡豆地域産業保健センター主催西尾幡豆医師会館)

西山理事より、平成25年度の事業報告では予算額4,000,000円に対して1,596,305円執行残額(24年度は1,841,867円)であった。当地区は零細企業が多いが大企業も多く検診の有所見率は低いが、自殺者が県下一多地域であり、区域が広くコーディネーターを1名増員して対応し、相談実績では、メンタルヘルス相談が昨年は0人だったが、本年は6人あった。また、平成26年度委託実施計画では25年度と同様の予定をしているが、三事業一本化で不透明であると報告された。

18. 産業医研修会〔3/13(木)〕について
(愛知県医師会主催：大同特殊鋼(株)星崎工場)

西山理事より、大同特殊鋼(株)星崎工場にて開催し、26名の出席があったと報告された。

19. 死因究明システムに関する講演会〔3/7(金)〕について
(愛知県医師会主催：9階大講堂)

細川理事より、愛知県補助金事業の一環として開催した。講師を日本医師会副会長の今村聡先生に依頼し、「わが国における死因究明システムの動向」という演題でご講演いただいた。また、ご自身からは愛知県医師会死因究明システムについて講演をした。参加者は会員51名始め、医療機関職員、行政担当者、弁護士等、合計80名であったと報告された。

20. 児童虐待対応医療機関連携推進会議〔3/6(木)〕について
(あいち小児保健医療総合センター主催：自治センター)

細川理事より、本会議は第1回目の会議で、医療機関における児童虐待対応マニュアル(病院編)についての推進会議として実施された。なお、診療所編についても、平成26年度に検討されることとなっている。また、会議の委員に愛知県歯科医師会が参加していないので次回より参加するよう発言したと報告された。

21. 各種委員会・部会について

A) 第10回 愛医総研委員会〔3/10(月)〕について
(5階医師連盟会議室)

伊藤(健)理事より、地域医療再生調査研究事業の最終報告として、在宅医療に係る追跡調査の分析結果やこれまでの経過から明らかになった阻害因子に関する説明がなされた。また、多職種連携の一環として取り組んできたイエローカードシステム、社会資源や地域特性の可視化を目的としたRadar NEWSの有用性につい

ても併せて総括的評価を行ったと報告され、7月以降愛医総研の方向性を出す予定であると発言された。

柵木会長より、愛医総研の部屋は片付けると発言された。

**B) 死因究明システム運営委員会〔3/10(月)〕について
(804 会議室)**

細川理事より、1月31日(金)にシミュレーションで開催した死因究明委員会において取り纏めた「報告書」について検討し、補助金契約に基づき、愛知県には当該報告書を添えて事業実績報告を行うと報告された。

大輪理事より、今回はシミュレーションだったが、本来は手術内容の適正についても検討する必要があると発言され、細川理事より、実際のケースでは主治医より症例の説明をしてもらうことになることになると発言された。

柵木会長より、事故が起きたらすぐ対応出来るか質問され、細川理事より、医療安全小委員会で協議できる体制を構築してあると回答された。

伊藤(健)理事より、今回のモデル事業で想定した内容と、改正される医療法で内容が変わってきている可能性があることと発言され、柵木会長より、本件について、4月の理事会に国の動向等を含めた報告をするよう細川理事へ依頼された。

2.2. その他

・都道府県医師会地域医療ビジョン担当理事連絡協議会〔4/11(金)〕について

伊藤(健)理事より、804 会議室にて TV 会議を行うので参加頂くよう役員へ依頼された。

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

平成26年3月20日